令和5年度　新川みどり野高校　年間指導計画（シラバス）

学科	教科	科目（講座名）	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	国語	言語文化	全	2	高等学校　新編言語文化（第一学習社）	書いて覚える　漢字練習ノート二訂版（京都書房）
学習の到達目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 ・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。					

学期	月	単元	学習内容	到達度目標（学習のねらい）
後期	10月	【日本文学編-近現代】 小説を読む（一）	島の少年－船 よろこびの歌	・ものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・登場人物の心情を捉え、説明しようとしている。
		詩の楽しみ	道程、小景異情 六月、I was born	・作中のものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・表現の技法とその効果を理解する。 ・繰り返し音読し、詩のリズムを理解しようとしている。
		小説を読む（二）	羅生門 ほねとたね	・作中のものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・常用漢字を文章中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・登場人物の心理を粘り強く読み解こうとしている。
	11月	短歌と俳句	大切の言葉、手毬唄 〔言語活動〕折句を用いて短歌を作る	・表現の技法とその効果を理解する。 ・作中のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・進んで折句を用いて短歌を創作しようとしている。
		小説を読む（三） 伝統と文化	よだかの星、鏡、わたしはマララ 人形浄瑠璃文楽－三業一体の技 祭りの笛	・作中のものの見方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・課題に沿って、調べたことをまとめようとしている。
		【日本文学編-古文】 古文入門	古文の学習、鳩と蟻のこと 一休ばなし	・古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。 ・作中のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・歴史的仮名遣いの読み方を積極的に理解し、繰り返し音読しようとしている。
	12月	古文に親しむ	児のそら寝 なよ竹のかぐや姫 〔言語活動〕古典から受け継がれる話の由来を調べる	・作中のものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・話の面白さや心理描写を積極的に捉えようとしている。
		物語を楽しむ	伊勢物語	・歌物語の特徴を理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作中で和歌の果たす意味を捉えようとしている。
		随筆を読む 和歌と俳諧	徒然草、方丈記、枕草子 万葉・古今・新古今 〔言語活動〕古典の和歌を現代の言葉で書き換える 奥の細道	・随筆の特徴を理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・和歌や俳諧の修辞について、きまりを理解する。 ・和歌を現代の言葉で積極的に書き換えようとしている。
	1月	【漢文学編】 漢文入門	漢文の学習 訓読に親しむ（一）（二）（三）	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・返り点、助字、再読文字の種類と使い方を習得する。 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けようとしている。
		故事成語	五十歩百歩、矛盾 狐借虎威 〔言語活動〕故事成語の由来と意味を調べる	・たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来を調べ、工夫してまとめようとしている。
		漢詩の鑑賞	漢詩のきまり、唐詩の世界 日本の漢詩	・漢詩のきまりを理解する。 ・作中のものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・漢詩の読まれた情景や心情を積極的に説明しようとしている。
	2月	寓話・小話	両頭蛇、梟逢鳩	・作中のものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・寓意を粘り強く読み取り、教訓を説明しようとしている。